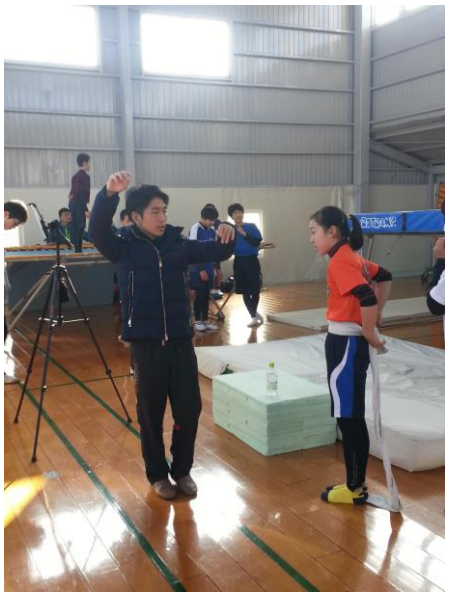
平成２９年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【　高知県　】

１実践テーマ	【　Ⅰ　Ⅴ　】
２実施対象者	トランポリン（※四国ブロッククローバーTIDプログラム参加者含む） ①　県内競技者　小学生（１名）、中学生（１名） ②　四国ブロック競技者　小学生（３名）、中学生（４名） ③　県内指導者（４名）、四国内指導者（９名）
３展開の形式	（１）学校における活動 ①　教科名（　　） ②　行事名（　　） ③　その他（　　） （２）地域における活動 ①　イベント名（　　） ②その他　　（　各競技団体での講習会　）
４　目　標 （ねらい）	オリンピック･パラリンピックを通じて「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」、「郷土や外国の文化」などに関する学びの機会を提供し、県民のスポーツに対する理解を深め、大会後も県民が主体的、積極的にスポーツ活動に参画する持続可能なスポーツ環境づくりにつなげるとともに、オリンピック・パラリンピックへの県民の意識を高め、2020 年東京大会に多くの県民が主体的に取り組む機運の醸成を図る。
５　取組内容	競技団体において、オリンピック・パラリンピックそのものの学びとオリンピック・パラリンピックを通じた「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」等の学びを展開する。 ○上山　容弘氏（2008 年北京オリンピック、2012 年ロンドンオリンピック日本代表）による講演・実技講習会 日時：平成 30 年１月 21 日（日） 場所：大津松岡体育館、北浦公民館 講師：上山　容弘氏 演題：「夢に向かって　～夢や目標を持つことの大切さ～」

５　取組内容	内容：・自己紹介 ・競技ルール（演技点、難度点、跳躍点、移動点） ・オリンピックについて、オリンピックまでの道 ・夢を実現するために大切なこと　等 講演の様子  実技指導の様子
６　主な成果	今回の講習会には、トランポリンの競技歴が浅い選手も含まれていることや、競技のルール改正もあっていることから、採点競技であるトランポリン競技の詳細なルール説明や、高得点を獲得するために、「どれだけキレイに技を行うことができるか」等、指導者にもわかりやすく講演していただいた。 また、夢を実現するために、目標をしっかりと持つことの大切さや、それぞれの年代にあったトレーニングの重要性を教わった。 そして、オリンピックへ出場したときのエピソードやオリンピックへの道のりについて、ご自身の体験を踏まえ選手達にわかりやすくアドバイスをいただいた。 実技講習会は、基本の動きや、基本技術の重要性を確認し、普段の生活や練習から試合や大会を意識して取り組むようアドバイスをいただいた。

	さらに世界トップレベルの演技を実際に身近で見せていただき、選手、指導者にとってとても貴重な機会となった。
７実践において工夫した点（事業の特色）	それぞれの種目において、県内の指導者と連携を図り、講演の内容や実技講習会の内容を考えた。そして、本事業の趣旨説明とともに本県の指導者が必要としている内容や、選手の状況を講師に伝え、選手や指導者にとって効果的な講習会になるよう留意した。 県内に競技用トランポリンが２カ所に各々１台しかないため、練習用トランポリンを多く準備できる会場を選定した。
８主な課題等	本事業の開始時期が年度途中となり、各競技団体への依頼が遅くなった。既に各大会や合宿等の日程が決定しており、学校行事との調整や会場の確保といった面から実施日の確定が難しく、当初６競技で実施を予定していたが、２競技での実施となった。 事業に協力していただく講師の人選や日程調整と、各競技団体との日程調整を早い時期から始める必要がある。 本事業で得られた成果を、いかに継続して広げていくのかが重要と考えている。
９来年度以降の実施予定	次年度は本事業の担当課が、高知県教育委員会事務局保健体育課へ移り、義務教育を中心とした展開を予定している。本年度の取組の成果と課題を適切に引き継ぎ、新たな取組に生かしたい。